

平成31年度 事業実施計画書（モデル的事業）

団体名：国府町まちづくり協議会

1. モデル的事業名	アーカイブズ構築事業
2. 事業名	飛騨国府歴史まちづくり推進事業 「飛騨国府アーカイブズ」構築事業
3. 目的	<p>地域の豊かな歴史文化遺産を未来に継承していきたいが、適切に収蔵されていない。特に個人所蔵に帰している文化財については、散逸・滅失の危機に瀕している。</p> <p>本事業では、地域にある収集・保存すべき歴史資料等の現況確認および記録保存を行う。また、その利活用を検討する。</p>
4. 事業内容	<p>地域にある収集・保存すべき歴史資料・記録資料を「飛騨国府アーカイブズ」と捉え、これらの現況確認・記録保存、ならびに国府町史編纂事業の成果も継承し活用する。</p> <p>昨年度に引き続き、地域にある歴史的資料等の現況確認および記録保存を行うとともに、地域住民に地元の歴史の魅力や奥深さについて知ってもらい、地域への誇りや愛着をさらに深めてもらう機会を作るため、飛騨国府アーカイブズを活用した「こくふ歴まち出前講座」を開催。幅広い年代の参加者を得るために、地元の歴史を紹介する内容の歴史講座とし、その一部を国府遺産コミュニケーターが講師を務める機会とする。なお、会場は町内会単位あるいは一定のエリア単位毎に設定し、出前講座の形式を取る。</p> <p>また、史跡や文化財の保存について、個人や町内会・氏子などが課題を抱えているケースが少なくない中、地域の歴史遺産を未来に継承できる体制づくりを進めるために、保存会設立などの相談窓口や定款作成モデル等を用意し支援体制を整え、情報提供や情報交換を行う。</p> <p>今年度は、まず飛騨国府アーカイブズ(国府地域の歴史資料・記録資料)や国府遺産(国府地域の歴史文化遺産)等の保存会設立モデルとして、広瀬城の史跡保存会の設立を目指す。</p>
5. 効果見込	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のデジタル化と公開に向けた権利関係の処理を済ませた上で、既存のデジタルアーカイブプラットフォームを利用することで、最小限の労力で公開が実現できる。 ・国府地域の記録資料の特長として、国府町有線テレビ放送（KHK）が制作した番組等の映像資料があり、これをアーカイブの目玉として位置づけることができる。 ・資料のデジタル化により、地域の歴史文化遺産を未来に継承することができる。災害により文化財等に被害が生じた場合に、記録保存したデータが文化財レスキューにおける重要な材料となりうる。 ・地域の魅力を再発見することで、さまざまな局面で新たな価値を創造する可能性が期待される。 ・地域住民に地域への誇りと愛着を育むことで、住み続けたいと思えるまちづくりの実現に近づくことができる。 ・史跡の地元住民や地権者などに史跡保存に対する意識を高めてもらい、地

域の歴史遺産として未来に継承できる体制づくりを進め、保存団体設立のノウハウを得ることで、多くの史跡にその方法を敷衍・応用させることが期待される。

- 史跡や文化財の保存について、個人や町内会・氏子などが課題を抱えているケースが少なくない中、その相談窓口の役割を果たすことができれば、史跡保存にむけて有効な働きが可能となる。

平成 31 年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
4 月～3 月	資料調査	<ul style="list-style-type: none"> ・資料所蔵者のもとへ出張調査・撮影 ・各区有文書の調査・撮影 ・国府小学校にて学校資料調査・撮影 ・KHK 映像資料の現況調査 ・大坪二市資料の調査・撮影 ・市公文書館保管の行政資料、国府町史編纂資料に関する調査 	
4 月～	入力・編集作業	『飛騨史料大綱 下巻』編集作業	
4 月～	目録作成・資料整理	撮影資料の整理、公開にむけた調整 (デジタルアーカイブ作業)	
6 月～3 月	講座	こくふ歴まち出前講座 (8 回)	
6 月	会議	保存団体設立 (名張町内会との協議)	
7 月	会議	保存団体設立 (広瀬城地権者との協議)	
8 月	視察	保存団体設立 (犬山市「ニワ里ねっと」視察)	
9 月	会議	保存団体設立 (広瀬城跡保存会設立協議会)	
12 月	講演会	史料保存・史跡保存に関するシンポジウム	
3 月	講座	著作権等、公開に係る法令に関する勉強会	
～3 月	会議	保存会設立 (設立にむけた定款づくり、啓発事業)	

平成31年度 国府町まちづくり協議会 収支予算書 (モデル的事業)
「飛騨国府アーカイブズ」構築事業

【収入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	900,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
合 計	900,000	

【支出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費	900,000	900,000	
報償費	140,000	140,000	講師謝礼
旅費	55,000	55,000	講師旅費、先進事例視察
需用費	305,000	305,000	消耗品費、印刷製本費
使用料及び賃借料	10,000	10,000	会場使用料
委託費	390,000	390,000	デジタルアーカイブ作業等委託料
合 計	900,000	900,000	